

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・梅雨明けとともに客の動きが活発になり、来客数が急激に増え、良くなっている。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・消費税増税の影響で、緩やかだが高単価の商材が出てきている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・取引先である不動産関連では、増税前の若干の駆け込み需要は期待できるが、前回の8%時に比べてハウスメーカー側にも特段対策はなく、客に対しても物件購入を積極的に行っている様子はない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は七夕祭りで始まり、元気が出てきていたが、国政選挙の低調に加え、降雨も多い月で、人出や活気がない。また、月末には気温が急激に上がり、人の動きが悪くなっている。
		一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・本当に、固定客が、毎日少し来るだけである。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・衣料品の夏物セールが前月にやや前倒しとなっており、今月は苦戦している。ただし、食品や化粧品などの消耗品は堅調で、トータルでは3か月前とそれほど変わらない。
		百貨店（役員）	販売量の動き	・現時点では、消費税増税前の駆け込み需要も余り見受けられず、足踏み状態が続いている。
		スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・現状の来客数は観光地を除く店舗では、ここ数か月ほぼ前年並みで推移し、傾向は変わらない。最近は天候が悪く、一部店舗に影響があるものの、客単価などは変わらない。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・梅雨が長引いたため、夏物衣料の動きはかなり悪い。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・当然のことだが、努力を重ねた結果、新車の販売量、車検などの整備売上も余り変わらずに推移している。
		乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・観光地を控えているので、梅雨が長引いているせいもあるが、7月に入って、旅館、物産店では、客がいなくて悲鳴を上げている。別の観光地でも客が全く来ないので、旅館が開店休業状態で本当に困っていると、来店した従業員の方が話している。そうした状況なので、当社も新車は全く動かない。車検、整備関係の入庫はあるが、販売は滞っている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・状況がとても悪いわけではないが、なぜか盛り上がりには欠ける。通常の台数でそこそこ売れているが、それ以上には伸びてこない。来客数も同様である。
		その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・販売量、受注共に、減少している。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	お客様の様子	・食品の安全衛生基準が上がってきていることや、更なる業務全般の効率化推進のため、給食業務の外部委託の流れはすぐに変わることはない。受注増を図るには、むしろ人材や体制の確保等の構造的な問題が重しとなっている。
		都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・3か月前の時点でも例年に比べれば、今年度は比較的良くなかったが、3か月経過しても根本的な底上げというか底の状況から変わっていない。
		都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・例年、7月はやや停滞気味となるが、今年も伸び悩んでいる。レストランは天候の影響で、夏の看板メニューの涼麺が今一つである。宿泊は、ビジネス客は好調なものの、大きな団体客等はない。
		旅行代理店（経営者）	単価の動き	・宿泊料金設定が高額な商材の売行きが良くない。インターネットと料金比較する客が増えている。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・夜の動きが少し悪く、前年同月比で2%の減少である。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・消費税増税を前に、客が消費に慎重になっている印象がある。	
	通信会社（店長）	販売量の動き	・販売動向に変化がなく、新築着工件数は減少傾向にある。	
	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、それほど変化がみられない。	

その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・来客数に変動はなく、財布のひもの固さも変わらない。
設計事務所（所長）	競争相手の様子	・忙しさが一段落したようで、今は落ち着いている。
住宅販売会社 （経営者）	お客様の様子	・貸店舗、アパート、マンション等は、このところほとんど動きがなく静かである。特に、店舗、事務所関係は、ほとんど引き合いがない。土地も非常に安い物件には、ちらほら引き合いがあるものの、いまだにデフレが続いている。
商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街からほど近い国道添いに、大型の道の駅がオープンした。夏休みに入り、にぎわいは一段と増しているが、その反面、商店街の人影は更にまばらになり、ゴースタウン化しつつある。そうしたなか、町をあげての夏祭りがあり、期間中は例年になく多くの人出でにぎわったが、祭り終了後には元の商店街に戻ってしまっている。
一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・増税に対する危機感なのか、欲しい物以外は一切買わなくなっている。以前より財布のひもは固くなっている。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・クリアランスセールがスタートしたが、婦人服を中心とした衣料品の苦戦が継続している。一部化粧品など好調な商品群はあるものの、トータルでは依然として厳しい状況である。
百貨店（店長）	来客数の動き	・改装による一部閉店の影響はあるものの、既存店合計でも前年より5%ほど、買上客数が減っている。今月は長雨の影響で衣料品が低調となり、婦人、紳士服共に、セール商戦が全く盛り上がらない。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年より31人減で前年比96%、売上は前年比8%プラスとなっている。天候不順により、飲料、アイス等が大きく前年割れをしている。また、土日のレジャー客も少なく、売上を下げる要因となっている。
家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・季節商材や白物家電の動きが悪い。梅雨の影響で、エアコンが前年比65%、冷蔵庫は同70%となっているが、映像関連は同120%と好調である。
住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・来客数減の最大要因は天候である。降雨日数が多く、気温も上がらないため、大きなマイナスである。
その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	販売量の動き	・今月は天候の影響が大きく、販売が厳しい。また、話題になった老後の2000万円問題で、前月は少し好転に向かうかと思われたが、客がより一層消費を控えているようである。消費税増税後のキャッシュバックやポイント還元も影響しているのではないかと。
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・来客数は増えているが、トータルの売上は減っている。イコール客単価が減少しているということである。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客によって、忙しくて残業、休日出勤もある人や、残業もなくボーナスも減った人もいて、業態によって大きく差がある。実際に金使いの良い客と悪い客は来店頻度が減っている客に、二分化している。
スナック（経営者）	来客数の動き	・平日の来客数が少なくなっている。
旅行代理店（所長）	来客数の動き	・梅雨明けが遅れ、不順な天候が続いており、宿泊施設の予約も伸び悩んでいる。夏休み前半は、客は海志向だが、悪天候が追い打ちをかけている。
タクシー（役員）	お客様の様子	・人手不足が深刻で、やや悪くなっている。
通信会社（総務担当）	お客様の様子	・販売以外の来客数は減っていないものの、購入目的の来客が減少している。
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・連日の悪天候により、来園客数が減少している。
ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・来場者数は、前年比で4月は2673名でマイナス173名、5月は4136名でプラス207名、6月は2451名でマイナス775名、今月は見込みで、3693名でマイナス301名となっている。平日の入場者が減少し、インターネット申込みの割引企画の中止が響いている。

	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・景気指標などからも好況感が感じられない地方では、建設業など不況企業も出始めてきている。そうした報道を見て、価格が下がるのではないかと予想し、急いで購入を決めずに様子見をしている客が多い印象がある。
×	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・今月は梅雨が長く、例年よりも気温がかなり低いため、ドリンク類、冷たい調理麺、アイスクリーム等が前年より2~3割落ち込み、全体の売上を押し下げている。
×	衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・天候不順で、急に真夏になったり、真冬のような寒さになったりと、この気温差が大きく影響して客が出てこない。将来への不安を抱えている人は多いが、購買意欲等の問題より前に、本当に客が出てこない。
×	住関連専門店 (店長)	来客数の動き	・前年と比べて梅雨明けが遅く、夏物商材の動向が非常に悪い。
×	都市型ホテル (営業)	来客数の動き	・6月中旬に180室ぐらいの規模のホテルが近くにオープンして以降、宿泊稼働率が大幅に減っている。また、宴会も前年比で大幅減となっており、厳しい状況にある。
×	通信会社(経営者)	販売量の動き	・売上の減少は底が知れない状態で、地方に回復の兆しはない。
×	美容室(経営者)	来客数の動き	・長梅雨の影響は消費者心理を冷やしている。暑くならないと、髪を切るタイミングを逸する。
企業 動向 関連  (北関東)	-	-	-
	輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・北米向けの輸出が、91か月連続で前年超えとなっている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・中小の製造、建設業等は受注が安定している。販売、飲食業などは例年並みであり、上向いている兆候はない。
	窯業・土石製品 製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・季節的要因で閑散としている。
	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・働き方改革で残業時間は減っているが、売上はまあまあである。
	輸送業(営業担当)	取引先の様子	・前年は6月に梅雨明けがあり猛暑となったため、エアコン、扇風機、その他家電、飲料水などの輸送等が多く、車両不足が発生し、輸送待ちなども起こった。しかし、今年は梅雨明けも遅かったため、夏物家電の輸送も10%減となり、全体的には落ち着いた状況である。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・金属、プラスチック加工業者が多く、2次、3次下請企業が中心の街で、周囲をみていると、少し仕事が減りつつあるようである。私どもの仕事にすぐに直結するわけではないが、やはり少しずつ仕事が減るような気がしている。
	社会保険労務士	取引先の様子	・依然として、半導体などの輸出関連の事業所は停滞している。小売なども大きな変化はない。
	その他サービス業[情報サービス](経営者)	受注量や販売量の動き	・特段の変化はみられない。
	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・10月からの消費税増税を警戒している。
	化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・季節的要因もあるだろうが、単純に受注や出荷をみれば落ち込む部門が多く、平均では多少悪くなっている。
	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・全体的に受注が減ってきており、特に、油圧機器分野では7~8月に在庫調整を行うとのことで、発注量が大幅に減少している。
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・前年、直近と比べても、やはり1割程度は落ちている。8月も前年同月より、まだ少し落ちそうである。8~9月で駆け込み需要があるとみていたが、注文はなく、多少失速気味ではないか。
	輸送用機械器具 製造業(経営者)	取引先の様子	・当社の取引先は12~13社あるが、売上の面、受注量など、やや悪くなっているところが5~6社に増えている。
建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・前年より仕事量が圧倒的に少ない。	

	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・消費税増税前に、建物の一部修繕や改修を提案しているが、受注できた物は少なく、売上が伸びない。建物の空室率も横ばいで、空室が埋まらなければ、必要以上に費用を掛けたくないというオーナーの意向が強い。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・増税への恐怖から、販促予算がかなり削られてきている。	
	×	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・受注実績の低迷が続いている。
	×	その他製造業 [環境機器] （経営者）	受注量や販売量の動き	・6月からの梅雨日数が50日あったため、当社事業の三本柱の1つである太陽光発電の売電額が、約1か月分減収になっている。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占めている建設業である。現政権誕生後、公共工事は順調に推移している。ただし、今年度は3か月を過ぎた時点で、最近では経験のない発注で、前年比9%減となっている。特に、県関係が前年比12%減、市町村関係は同23%減と厳しい。当社も前期比15%減の受注で、夏のボーナス支給がまだ厳しい状況で、この先大変心配している。
雇用 関連 (北関東)	-	-	-	-
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・夏休みに入った子供たち向けのレジャー用品等の購買等が目立っている。野菜等は若干高めになってきたが、徐々に購買力も伸びてきている。一般住宅や公共事業関連の工事は、引き続き順調に伸びている。
		人材派遣会社（管理担当）	周辺企業の様子	・人材不足で、周辺企業から派遣の依頼が多数あるため、やや良くなっている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材募集の依頼は例年並みである。人手不足の状況は変わらない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数の直近3か月を前年比でみると、3.8%増加しているが、ほとんど変わらない。有効求職者も直近3か月は前年比0.5%減少し、有効求人数同様、変わらない状況が続いている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・ここにきて、製造業の事業所から、休業を行う、行いたい、という情報が複数寄せられている。業種によっては下降気味になってきているのかと懸念している。
		学校[専門学校]（副校長）	求人数の動き	・5年前に比べて求人数は多いが、前年度や一昨年度のような求人数の増加感はない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・事業所からの新規求人申込みが減少している。特に、製造業の求人申込みは大幅に減っている。
	×	*	*	*